

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2014年4月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第553号

最近、若い世代の「らしさ」という言葉の使われ方が、戦後世代である私の時代と異なるのではないかと気になりました。私が子どものころは、「中学生らしさ」とか「少年らしさ」「男らしさ」などと盛んに使われたものだ。いまは、むしろ「私らしさ」、「自分らしさ」、「その人らしさ」というような使用例が多くなったような気がしてならない。

「いかにも・・・と思われる」(『広辞苑』「らしい」という意味で使われていることには変わりないのだが、かつては、「中学生」「少年」「男」といった社会的集合への帰属の度合いを示して使われていた。いまは「反対に「私」「自分」「その人」のように、個人の属性と特徴が遺憾なく発揮されるようにとの期待を込めて使われている。就活において、婚活において、若者たちはいつも他の誰でもない固有の自己でありつつつけることが求められているようだ。豊かになった社会には、職業選択のみならず、学習歴などによる階層間の移動において、結婚や居住において、多くの選択肢が

用意されている。自由な社会が実現したかに見える。

けれども、敗戦後の七十年、営々と築き上げてきた豊かで自由な社会のなかで、多くの若者は痛々しいばかりに「らしさ」の奴隷となつている。彼らが「らしさ」を商品化し、見栄えを良くすることに腐心し、苦闘して見えるのはなぜだろうか。

「危機の社会学」で知られ

## 同時代への「問い」としての終末期



中村 信博

財団評議員・関西運営委員

るドイツのU・ベックは、かつて個人を保護し、個人の行動規範を提供した集団や階層は崩壊してしまい、それに代わつて、市場競争的な社会が出現したことで個人が自分の人生と生存保障についてまでも直接の責任を負わなければならない時代が到来している、と警鐘を鳴らしている。選択と行為の基準も個人に委ねられているゆえに、結果

の責任もまた個人が負わなければならない。ベックはそれを社会の個人化がもたらすリスクであると考えたのだ。ひよっとすると、「らしさ」の変容には、この時代のとても大きな問題が隠されていたのかもしれない。過剰なまでに個性的な自己をアピールす

る若者たちは、自由を消費しているのではなく、単独で無防備のまま、膨大な自由の大海に投げ出されているのだ。それどころか、彼らはこの時代の危機を一手に引き受けて生きていくのかもしれない。もちろん、対局にあるような、自己を主張しない、いわゆる「ひきこもり」の若者たちも、じつはおなじように、この時代に潜む危機の証人として生きていく。

福島原発事故後の日本と世界の方向を探った修学院フォーラム「社会」(一月十二〜十三日)に講師としてお招きした政治学者の姜尚中氏は、近著『心の力』のなかで、夏目漱石やトーマス・マンの作品を通して、個人であることを否応なく問わざるを得なかった近代人の精神史を点描している。私には、漱石やマンが描く「死」は、ベックが言う帰属社会との切斷を宿命として、ひたすら個人化の道を行んだ近代を象徴しているように思えてならない。近代は大戦や大量殺戮など、おびただしい「死」と向き合った時代でもあったからだ。

今年度修学院フォーラム「福祉」第二回(五月二十四日)は、長く人びとの日常のなかで、終末期を見つめ、「老いと死」について考えて来られた徳永進先生(野の花診療所院長)に講師をお引き受けたいだいでいる。

この時代のリスクは人生の終末までをも個人化してしまうのだろうか。多くの方が関心をもってご参加くださるようにと願っている。

(同志社女子大学社会学部教授)

研究会	全5回	キリスト教入門(仮題) 柳下明子(日本聖書神学校教授)	第4回12月11日(木) 第5回1月 8日(木)
神学生交流 プログラム		未定	

### Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター事業計画

2014 年度に、「日本クリスチャン・アカデミーの理念」に基づき、以下のプログラムを企画する。

1. 修学院フォーラム社会は、昨年と一昨年に続いて原発問題を取り上げる。さらに、原発問題と深い関係がある科学者の責任及び特定秘密保護法に関するプログラムを計画している。
2. 修学院フォーラム福祉は、「終末期の医療」及び「葬儀と墓」を取り上げる。
3. 修学院フォーラムいのちは、最近注目されている認知症、メディカル・コントロールとグリーフケアの問題を探るプログラムである。
4. 開発教育セミナーは、小・中・高等学校の教諭を中心に、いかにして学校の現場に第三世界の国々に対する問題意識を高めることができるかを研究する。
5. お茶のこころと宗教のこころプログラムでは、京都におけるキリシタンの歴史を取り上げる。
6. もみじまつりは、今年、茶席、琴演奏の他に、特別展示会で正教会のイコンを紹介する。

開発教育セミナー	第1回	開発教育入門セミナー(協力プログラム)	6月22日(日)
	第2回	縮小社会～これからの私たちの暮らしをデザインする 松久寛(縮小社会研究会代表・元京都大学工学部教授)	7月12日(土)～ 13日(日)
	第3回	非暴力トレーニングを体験する～その理念と実践 大畑豊(非暴力平和隊・日本(NP))理事)	9月13日(土)～ 14日(日)
	第4回	沖縄スタディツアー～今考える沖縄 玉城尚美(沖縄NGOセンター)	10月11日(土)～ 13日(日)
	第5回	映画上映「ある精肉店のはなし」+ワークショップ「食卓の牛肉から見える世界」	11月9日(日)
	第6回	ベトナム戦争後のベトナムと日本の原発輸出 伊藤正子(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授)	12月13日(土)～ 14日(日)
研究会		お茶のこころと宗教のこころ	
	第1回	京都のキリシタン(仮) 杉野榮(日本バプテスト連盟京都路西教会牧司)	7月7日(月)
展示、講演会		もみじまつり	11月23日(日)
		展示会 正教会のイコン	11月22日(土)～ 23日(日)
		講演 東方教会の祈りの形 広岡正久(前京都産業大学理事長)	
		音楽 野中久美子(能管奏者)	

### Ⅳ 関西セミナーハウス 事業運営方針

関西セミナーハウスは、2013 年度より公益財団法人の附属施設として、新しいスタートを切った。移行後、その趣旨に添って多くの方々にご利用いただいている、2014 年度も引き続き、下記の主要な努力目標を掲げ、積極的な運営を行う。

1. 公益目的事業の拡大  
関西セミナーハウス主催の文化的プログラムを継続するとともに関西セミナーハウス活動センターや他の教育機関・学会・研究会、諸団体と連携し、その文化、教育、社会貢献活動に参画する。
2. 収益事業の展開  
公益目的以外の一般利用者、企業等への宿泊ならびに研修施設の貸出を積極的に推進する。特に長年、本施設が支えられているコア利用者(団体、個人リピーター)への働きかけを強める。
3. 公益活動への貢献  
厳しい事業環境であるが、2013 年度に引き続き、公益財団法人の活動を支えるために一定額の拠出金を設定し、具体的な貢献を行う。
4. 健全な収支の確保  
収支のバランスを整え、老朽化している施設の更新を行うとともに事業の継続性を確かなものとする。

(以上)

シリーズ名	回数	プログラム	予定
修学院フォーラム社会	第1回	科学者の原罪と社会的責任 政池明(京都大学名誉教授物理学)	11月1日(土)
	第2回	特定秘密保護法 佐藤優(文筆家)	11月8日(土)
	第3回	原発をどう位置付けるか 環境経済学の観点から 植田和弘(京大経済学研究科長) 神学の観点から 西原廉太(立教大学副総長)	2015年11月11日(日) ～12日(月祝)
修学院フォーラム福祉	第1回	認知症・高齢者介護～わが国の医療・福祉のあり方を考える 中島健二(京都府立医科大学名誉教授、神経内科医)	4月19日(土)
	第2回	ほどほどに去る～終末期医療の現場から 徳永進(野の花診療所院長)	5月24日(土)
	第3回	「葬儀と墓」は誰のために、何のために～キリスト教と仏教の立場から考える 池口龍法(知恩院僧侶) 塚本潤一(環栄短大准教授)	2015年3月7日(土)
修学院フォーラムいのち	第1回	メディカル・コントロールと新・優生思想の時代 児玉真美(著作家)	7月19日(土)
	第2回	福祉とスピリチュアリティー社会福祉の根源にあるもの(仮) 木原活信(同志社大学社会学部教授)	2015年1月24日(土)
	第3回	グリーフケアを考える 高木慶子(上智大学グリーフケア研究所特任所長)	2015年2月28日(土)

# 公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

## 2014年度事業計画

### I 事業計画基本方針

本年度、当財団は、以下の基本方針を掲げ、諸事業を積極的に推進する。

#### 1. 事業の展開

定款に定められた当財団の目的に沿って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた対話を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を一層活発に展開する。

#### 2. 事業の推進

##### 1) 公益目的事業

##### (1) 東・西活動センター

- ① 現有のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。
- ② 参加者同士の対話中心の宿泊プログラムを拡充する。
- ③ アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。
- ④ 東・西活動センター合同プログラムを継続的に実施する。

##### (2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、公益目的事業でのさらなる活用をはかる。
- ② 東・西活動センターの事業目的である公益活動への貢献度を高める。

##### (3) 広報活動

機関誌「はなしあい」を定期的に発行し、当財団の諸活動を報告する。また、東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページ等によって積極的な情報発信を継続する。

##### 2) 収益事業

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出しを行い、その収益の一部を公益活動に資する。

#### 3. 運営推進体制の安定化

それぞれの継続する公益事業は、明確な方向性と予算計画を持ち、運営推進にあたる。また新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動を展開する。

#### 4. 財政の健全化

- 1) 引き続き、財政の健全化に取り組む。
- 2) 保有資産を見直し、有効な活用策を研究する。
- 3) 運用基金の運用は、規程、細則に則り行う。

#### 5. 賛助会員、寄附金の拡充

公益事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念を周知し、アカデミー運動を支えようとする賛助会員、寄附金の拡充を図る。

### II 関東活動センター2014年度事業計画

2014年度に、「日本クリスチャン・アカデミー

の理念」に基づき、以下の対話を重視したプログラムを企画する。

1. 関東フォーラム今日的課題Ⅰの「自死に遭遇した人への慰めとは」は、従来タブーとされがちであった自死の問題を取り上げ、教会と社会における具体的な取り組みの可能性を探るプログラムである。
2. 関東フォーラム今日的課題Ⅱの「平和憲法を考える」は、改憲の可能性が議論される現在、改めて戦後民主主義の諸価値を検証し、改めて平和憲法の意義を学ぶ企画である。
3. 関東フォーラム宗教対話Ⅰ「古典で読む20世紀」は、今ではほとんど読まれなくなった先哲の様々な古典的著作を読み直し、21世紀の現在の時点でその意義を再確認することを目的としている。
4. 関東フォーラム宗教対話Ⅰ「牧師と共に絵本を読む」は、子どもの世界を対象に描かれた数々の絵本から、現代社会への鋭い問題提起を読み取り、それを共有しようとする試みである。
5. 聖書を読むシリーズでは、フェミニズムの立場からの聖書を読み直し、あるいは今日的視点からの聖書の読み方を探ることを目的としている。
6. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、第5回プログラム(2014年3月実施)の実績を踏まえて、さらに継続する可能性を探る。

シリーズ名	回数	プログラム	予定
関東フォーラム 今日的課題Ⅰ	全5回	『自死』に遭遇した人への慰めとは 賀来周一(キリスト教カウンセリングセン ター相談所長)	第1回4月14日(月) 第2回5月12日(月) 第3回6月9日(月) 第4回7月14日(月) 第5回8月4日(月)
関東フォーラム 今日的課題Ⅱ	全1回	平和と憲法を考える(仮題) 講師:未定	9月(未定)
関東フォーラム 宗教対話Ⅰ	全4回	古典で読む20世紀 武田利邦(農村伝道神学校講師)	第1回5月23日(金) 第2回7月25日(金) 第3回10月24日(金) 第4回11月23日(金)
関東フォーラム 宗教対話Ⅱ	全4回	牧師とともに絵本を読む 増田琴(巣鴨ときわ教会牧師)他	第1回6月27日(金) 第2回9月26日(金) 第3回11月28日(金) 第4回2月27日(金)
聖書を読む会	全10回	イエスの世界の女性たち 山口里子(日本フェミニスト神学・宣教セ ンター共同ディレクター)	第1回4月8日(火) 第2回5月13日(火) 第3回6月10日(火) 第4回7月8日(火) 第5回8月12日(火) 第6回9月9日(火) 第7回10月14日(火) 第8回11月11日(火) 第9回12月9日(火) 第10回1月13日(火)
研究会	全5回	キリスト教入門(仮題) 柳下明子(日本聖書神学校教授)	第1回9月11日(木) 第2回10月9日(木) 第3回11月13日(木)

## 2014 年度収支予算書

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	131,144,600	137,759,950	△ 6,615,350	
(2) 経常費用				
事業費	135,059,048	134,337,476	721,572	
管理費	5,213,659	5,522,474	△ 308,815	
経常費用計	140,272,707	139,859,950	412,757	
当期経常増減額	△ 9,128,107	△ 2,100,000	△ 7,028,107	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 9,128,107	△ 2,100,000	△ 7,028,107	



3年前の3月11日私達の国は、とんでもない災禍を引き起こしてしまった。原子力発電所が暴走し、15万人もの人がその住む所を追われ、3年後も放射線汚染を止められないなんて思いもしなかった。このままでは、次の世代に負いきれない重荷を負わせ

ることになる。私達に何ができるだろうか。それを考えたと思う。我々は、エネルギー問題を基本に立ち返って真摯に考え合うフォーラムを2012年から始めた。今回はその第2回目である。学生、主婦、教師、牧師、医師、特定の職を引かれた人

発題：「混成型共生社会の可能性」

「福島原発事故を原点に据えて、日本と世界の歩むべき方向を探る」

●2013年度 修学院フォーラム  
「エネルギーを考える」 第2回

聖学院大学全学教授 姜 尚中さん  
「今、聖書から問うー核利用の根にあるものー」

日本キリスト教会横浜海岸教会牧師 上山修平さん  
2014年1月12日(日)～13日(月、祝)

関西セミナーハウス活動センター

など78名の方が参加して下さった。

まず第1日目の夕方、姜尚中先生は、3・11の意味するものについて歴史的、政治的観点から次のように語られた。

3・11の2週間後に相馬市に入った時、これから後の我々の歩みには二つの可能性があると思った。一つは関東大震災後と同じように富国強兵、純化主義を推し進め、強い国家の建設へと進む方向、もう一つは個人や国家の壁を越えて繋がり合った共に生きる市民社会の建設へと進む方向である。残念ながら、最近の特定秘密保護法の制定、国家安全保障局の設置、集団的自衛権行使の容認などは、我々の国が第1の選択肢へと大きく舵を切ったことを示している。エネルギーの点からは、ドイツと同じように脱原発を選ぶことが可能な状況にあるにも関わらず、原発を再稼働させ、海外へも輸出しようとする背景には、核武装への可能性を保持しておこうとする意図が感じられる。

3・11後の被災地の状況は、ミナマタやヒロシマを思



い起させる。我々の国は、ミナマタやヒロシマの被害者に対し、被害者に線引きをして、国の責任範囲を狭く限定し、被害者を分断し、被害者の間に対立をおおる策をとってきた。フクシマでも同じことが進行している。これは棄民であり、犠牲の上に立って繁栄を享受しようとするものである。そこでは、大きいこと、強いこと、高いこと、速いことだけが重んじられる。

聖書は、先にあったことは、また後にもあると警告している。我々は、私達の国が新しい形の富国強兵、純化型格差社会、国民なき国家主義へと

進みつつあることを警戒し、再び新たな1930年代を来たらせることなく、犠牲のシステムを越えて、小さいこと、弱いこと、低いこと、遅いことを重んじ、互いの壁をこえて繋がり合い、混成型共生社会を目指すこと、それを国境を越えて東アジアに広げることが求められる。キリスト者は、日本ではマイノリティーであるが、マイノリティーからできることがある。

2日目の朝には、上山修平先生が、放射線が生命に与える特性を押さえた上で、その放射線とどう向かいあうべきかについて、次のように語られた。

人類が放射性物質を兵器や、発電に使い始めて以来、それが環境中に広がり始め、不特定多数の人に害を及ぼすようになった。放射線はごく少量でも生命に害を及ぼすと考えられているが、放射性物質を利用する立場から、その利用を妨げないように「許容量」が定められた。シユバイツァーは、「誰が彼らに被曝を許容することを許容したというのか」と言っている。人類がこの危険な放射性物質を

安全に使いこなせないことは、スリーマイル島やチェルノブイリなどの原発事故などから学んできた筈である。日本は、その危険な原子炉を地震の巣窟である土地の上に据えている。その危険性は、今回の福島事故や柏崎事故で明らかである。それでも、我々これを使い続けるのか。創世記は、神様は人間にエデンの園を耕し、守る務めを与えられた、と述べている。パウロは、被造物は呻いていると警告している。エレミヤは、いつまで神の言葉を聞かないのかと繰り返し警告している。バベルの塔は、生き方を転換せよとの警告ではないのか。今我々は、新しい歩みを

選びとることが求められている。これらの発題を巡って、参加者は二日間時間一杯熱心に考え合った。1日目の夜には、自由懇談の時間が設けられ、ここでは福島から来られた医師の富永国比古氏が、被災者は、生き残った罪責感や見捨てられた不安におびえ、差別、相互不信、家族や友人関係の崩壊などに苦しんでいると、報告された。

今回も第1回と同じように、講演とはなしあいが録音から文章に起こされて出版される予定である。それを通して、今回参加できなかった人も、この問題を共有して下さることを期待する。



安全に使いこなせないことは、スリーマイル島やチェルノブイリなどの原発事故などから学んできた筈である。日本は、その危険な原子炉を地震の巣窟である土地の上に据えている。その危険性は、今回の福島事故や柏崎事故で明らかである。それでも、我々これを使い続けるのか。創世記は、神様は人間にエデンの園を耕し、守る務めを与えられた、と述べている。パウロは、被造物は呻いていると警告している。エレミヤは、いつまで神の言葉を聞かないのかと繰り返し警告している。バベルの塔は、生き方を転換せよとの警告ではないのか。今我々は、新しい歩みを

### 賛助会費・寄付金報告(1)

2014年1月1日～2014年2月28日  
(順不同・敬称略)

#### ◆財団本部

##### 寄付金

早稲田教会 50,000

#### ◆関東活動センター

##### 賛助会費

千葉 拓司 5,000

木下 庸子 5,000

上林 順一郎 10,000

椿 邦良 5,000

浜口 修 5,000

松浦 茂長 5,000

##### 寄付金(クリスマス寄付金を含む)

萩原 隆司 2,000

日野原 重明 3,000

木岡 毅 5,000

立原 敬一 5,000

飯田 庸子 3,000

日本基督教団市川三本松教会 3,000

吉田 豊 3,000

飯田 さかえ 3,000

井上 和子 5,000

匿名 1,000

在日本韓国YMCA 10,000

服部 千賀子 3,000

椿 邦良 5,000

加藤 真規子 3,000

神学生交流プログラム募金

神保 正男 10,000

横浜雙葉学園 10,000

飯島 隆輔 5,000

日本基督教団千代田教会 5,000

上林 順一郎 10,000

同志社大学神学部 40,000

椿 邦良 10,000

関西学院大学神学部 30,000

古賀 博 10,000

横野 朝彦 10,000

関田 寛雄 10,000

武田 利邦 5,000

北原 和夫 5,000

戒能 信生 100,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。

選びとることが求められている。これらの発題を巡って、参加者は二日間時間一杯熱心に考え合った。1日目の夜には、自由懇談の時間が設けられ、ここでは福島から来られた医師の富永国比古氏が、被災者は、生き残った罪責感や見捨てられた不安におびえ、差別、相互不信、家族や友人関係の崩壊などに苦しんでいると、報告された。

今回も第1回と同じように、講演とはなしあいが録音から文章に起こされて出版される予定である。それを通して、今回参加できなかった人も、この問題を共有して下さることを期待する。

**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

■**聖書を読む会**

「イエスの世界の女性たち」

講師：山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：4月8日～2015年2月10日、第2火曜 18:30～20:00 (全10回)

会場：早稲田奉仕園スコットホール 2階 222号室

参加費：1,200円/学生 500円

共催：早稲田奉仕園

**東 西 南 北**

◎**財団本部**

黒岩 裕二、事務局長 (嘱託)、3月31日付で退任しました。

小林 裕一、事務局長 (職員)、4月1日付で就任しました。

◎**関西セミナーハウス**

小泉 達彦、館長、3月31日付で退任しました。

シュペネマン クラウス、館長 (顧問)、4月1日付で就任しました。

森口 克洋、館長補佐 (顧問)、4月1日付で就任しました。

石本 紅美、フロント (職員) 4月1日付で着任しました。

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 **日本クリスチャン・アカデミー**

代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
TEL 075-711-2147  
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
日本キリスト教会館 6 F  
TEL 03-3207-6198  
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail:info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail:office@academy-kansai.org

■**今日的課題プログラム I**

『自死』に遭遇した人への慰めとは」  
講師：賀来周一さん (キリスト教カウンセリングセンター相談室長)

日時：①4月14日、②5月12日、  
③6月9日、④7月14日、  
⑤8月4日 いずれも月曜 14:00～16:00

会場：日本聖書神学校

定員：10名 (先着順)

参加費：1回 2,000円

協賛：日本聖書神学校キリスト教研究所

■**今日的課題プログラム II**

「古典で考える 20 世紀」

講師：武田利邦さん (農村伝道神学校講師)

日時：①5月23日、②7月25日、  
③10月24日、④1月23日  
いずれも金曜 15:00～17:00

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500円 (4回参加の場合は1500円)

◆**関西セミナーハウス 修学院きらら山荘**

■**能を楽しむタベ in 修学院きらら山荘**

第15回 能『鶴』

日時：4月25日 (金) 17:30～

第16回 能『屋島』

日時：5月16日 (金) 17:30～

解説・出演：林宗一郎さん (観世流能楽師)

会場：関西セミナーハウス

定員：50名

能観賞料金：1,800円/大学生1,200

円 (ご宿泊者 1,000円)

■**林宗一郎を囲んでの懇親会**

日時：上記能楽鑑賞後

会場：関西セミナーハウス 茶室清心庵

費用：1,500円 (ご宿泊者 1,300円)

■**月釜 清心会**

日時：5月11日 (日)・6月15日 (日)  
9:00～15:00 受付

(1、8月を除く年10回)

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000円、臨時会費 1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2014 年度修学院フォーラム「福祉」**

第2回 「ほどほどに去る～終末期医療の現場から」

講師：徳永 進さん (野の花診療所院長)

日時：2014年5月24日 (土)  
13:30～16:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：2,000円/学生 500円

■**開発教育セミナー**

2014年度第1回「開発教育入門セミナー Think Globally, Act Locally

～世界の中の私～ (協力プログラム)

主催：(独)国際協力機構関西国際センター (JICA 関西)、(公財)京都市国際交流協会

会場：京都市国際交流会館

日時：2014年6月22日 (日)  
10:00～17:00

参加費：無料 (要申込み)

申込先：JICA 関西

**賛助会費・寄付金報告 (2)**

2014年1月1日～2014年2月28日  
(順不同・敬称略)

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

京都音楽教育の会 50,000  
俣野 博 250,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

小山 稔 5,000  
関口 真紀 10,000  
西村 宗玖 5,000  
山本 貞子 5,000  
福田 範三 5,000  
椿 邦良 5,000  
多田出 佳代子 5,000

寄付金 (クリスマス寄付金を含む)

日本基督教団平安教会 3,000  
黒田 きよ子 2,000  
上野 正子 5,000  
姫野 真知夫 10,000  
日本基督教団希望ヶ丘教会 5,000  
松岡 由香子 2,000

藤谷 正一 3,000  
上山 修平 10,000  
茂 洋 10,000  
金山 顕子 1,040  
鳥井 清司 10,000  
日本基督教団倉敷教会 3,000  
椿 邦良 5,000  
原田 博充 3,000  
根岸 宏邦 10,000  
北野 宗香 3,000  
日本キリスト教団宇治教会 5,000  
日本基督教団経堂緑岡教会 10,000  
日本基督教団天満教会 10,000  
西川 和江 5,000  
斉藤 洋子 3,000  
日野 多栄子 3,000  
中西 綾子 3,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。